

プロトコール名 GEM+CDDP+S-1併用療法

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ゲムシタビン・GEM	1000mg/m ²	div	30min	d1
2	シスプラチン・CDDP	25mg/m ²	div	60min	d1
3	S-1	80mg/m ²	p.o	1日2回	d1-7
		※用量は体表面積に応じて調整 <1.25m ² : 80mg/body/日 1.25~1.5m ² : 100mg/body/日 1.5m ² <: 120mg/body/日			

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	2週間
総コース数	効果のある限り継続
コース間での休薬の規定	day1: 好中球数, ≤1000、PLT ≤7.5万、Tbil ≥3.0、AST, ALT ≥150、sCr ≥1.2、消化器毒性 ≥Grade2

減量規定・中止基準	・減量規定 GEM: G4以上の好中球orPLT減少、FN: ①800mg/m ² →②600mg/m ² S-1: 下痢、悪心、倦怠感G3以上の場合: 1段階減量 ・中止規定
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	CDDP→GEM
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション グラニセトロン1mg、デキサメタゾン6.6mg

患者条件(初回条件)

CTCAE v5.0

- ・PS 0~1
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・PS 3以上
- ・重篤な腎障害のある患者
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・白金を含む薬剤に対し、重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者
- ・胸部への放射線療法を施行している患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

- ・GEMによる肺障害を疑わせる間質性肺炎出現時はGEMの再投与を中止し、ステロイド投与を行う

慎重投与

- ・PS 2
- ・骨髄抑制のある患者
- ・肝障害、腎障害のある患者
- ・75歳以上の高齢者
- ・感染症を合併している患者

その他(特記事項)

P II (KHBO1002)より参照